

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

- (1) 期日 令和3年5月27日(木)
- (2) 調査対象 丹波市立黒井小学校 第6学年
- (3) 調査事項
 - ①教科調査〔国語科、算数科〕質問紙調査
 - ②質問紙調査

2 国語科の調査結果

国語科では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語に関する事項」を選択式、短答式、記述式で解答する調査でした。

全国や県の結果、本校の過去の調査結果等をもとに分析しましたところ特に「話すこと・聞くこと」において力がついていることがわかりました。対話的な学習は昨年度から全校的に授業の中で取り入れていることであり、日々の学習の成果がでたものと考えます。「言語に関する事項」においても、その特徴や使い方での正答率が高く、週末の課題である「言葉のプリント」等の効果がでてきたものと考えます。

反対に「書くこと」、「読むこと」については、課題が見られました。文章の構成をつかむ力や事実と意見を区別して読む力、主張と根拠と理由を明確にして書く力、複数の情報を関係づけて考えることなどについては、今後の授業等において意識をして伸ばしていきます。

3 算数科の調査結果

算数科においては、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」について国語と同じ問題形式での調査でした。

体験的な活動や日常生活で学習したことを活用することは、どの学年においても大切にしているところです。「量と測定」の領域でついてきた力をさらに伸ばしたいと考えます。また、毎日継続しているスキルタイムでの成果が、知識・技能に現れています。計算問題でも粘り強く最後まで取り組める児童が増えてきていると考えます。

課題としましては、「数と計算」の領域と「データ活用」の領域での正答率が特に低い結果でした。示されたデータに基づいて判断していく問題解決力や多くの情報を比較したり、分類・整理したりする力を今後伸ばしていくことが大切だと考えます。そのために問題解決型の授業の流れを取り入れることや、個別の学習状況を把握し適切に支援できるようにします。

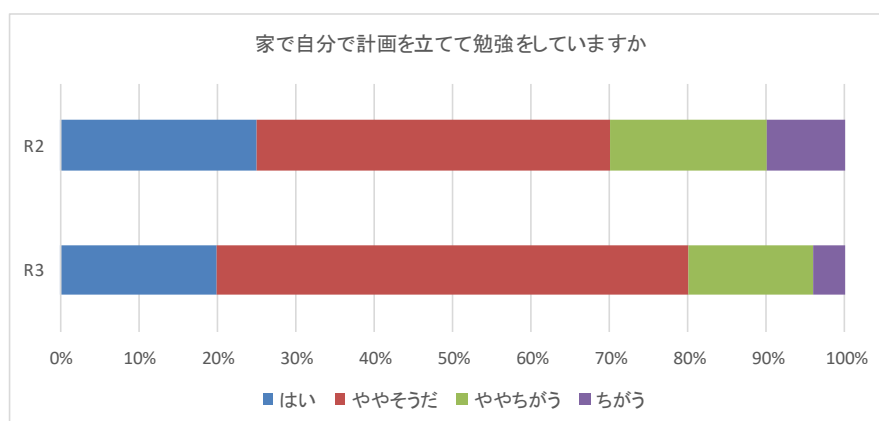
4 児童質問紙調査結果

これからの社会を生きていく子どもたちには、「主体的」で「対話的」な「深い学び」が求められています。子どもたちが、学校や家庭において主体的に取り組み、多様な他者との対話や本などの資料を活用し、学んだことをより深い「学び」にしていくことが求められています。

児童質問紙69項目の中から、本校児童の主体性や対話的な学び方、深い学びの状況について報告いたします。

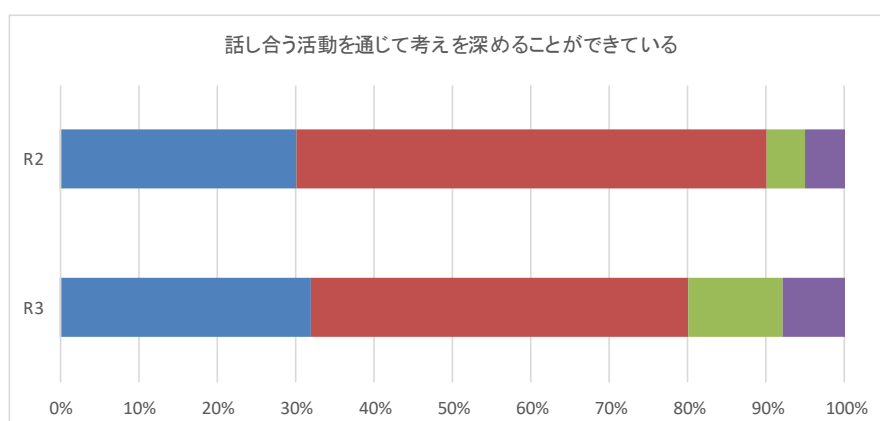
(1) 主体的な学び…学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

質問：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



(2) 対話的な学び…子ども、教職員や地域の人との対話、書物の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

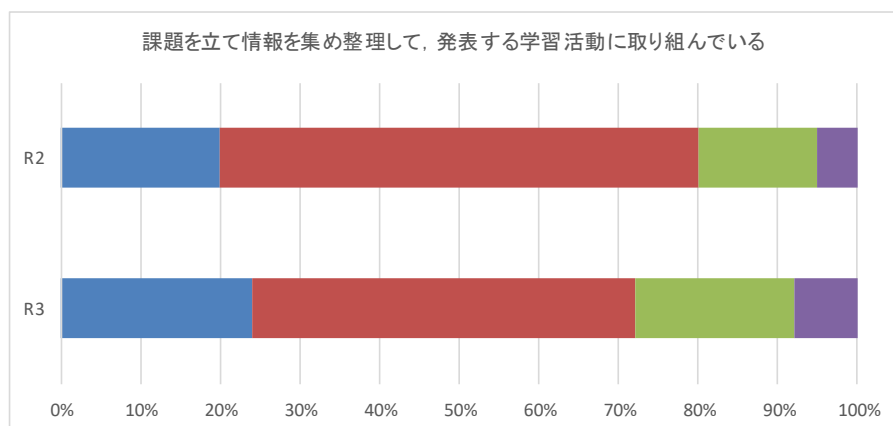
質問：学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



(3) 深い学び…学びの過程の中で、知識を関連付けてより深く理解したり、情報を精査し考えを形成したり、問題の解決策を考えたり、創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

質問：総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたこ

とを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



また、新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業と児童生徒の学習状況・学校の取組について全国の結果から4点について報告いたします。

- ①臨時休業期間中、「勉強について不安を感じたか」との質問について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、児童で55%でした。
- ②臨時休業期間中、「計画的に学習を続けることができたか」との質問について肯定的に回答した割合は、児童で約65%でした。
- ③臨時休業期間中、「規則正しい生活を送っていたか」との質問について肯定的に回答した割合は、児童で約65%でした。
- ④臨時休業期間中、「課題で分からないことがあったとき、どのようにしていたか」との質問について、児童は「家族に聞いた」との回答が最も多く（約80%）でした。

黒井小学校では、これから社会で生きていく子どもたちに、

ア 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができること（人間関係形成・社会形成能力…対話的な学び）

イ 自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとすること（自己理解・自己管理能力…主体的な学び）

ウ 様々な課題を発見し、適切な計画を立ててその課題を人と協力して解決することが、できること（課題対応能力…深い学び）

エ 自らが果たすべき様々な立場や役割を踏まえて人のために行動すること（深い学び）などが求められると考えられることから、これらの力を発達段階に応じて身につけさせ、自身の成長を実感させていく教育活動を実践していきたいと日々取り組んでいます。取組をとおして自身の成長を感じさせ、主体的な学びへ結び付けていくために子どもたちの「自己効力感」を大切にしたいと考えます。